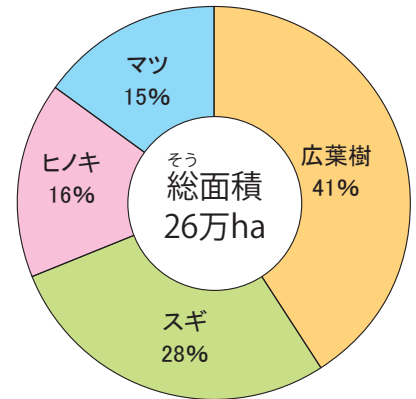


3

とっとりけん りんぎょう 鳥取県の林業

1 森林の働きと林業

鳥取県には県の面積の74%にあたる約26万ヘクタールの森林があります。この森林を利用して古くから林業が行われています。

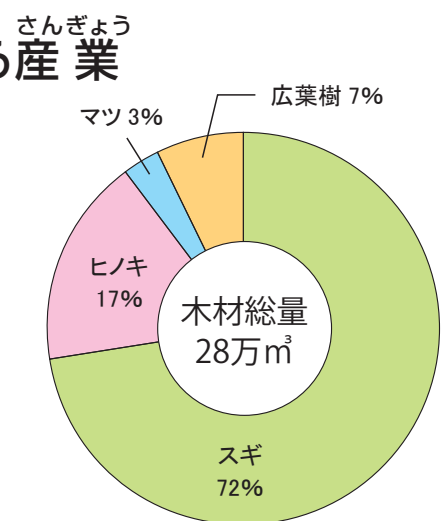


鳥取県の森林面積

[2016年 / 鳥取県農林水産部]

林業はさい生産できるしげんを利用する産業

森林は、石油や鉄などどちがい、木を切った後にふたたび苗木を植えていくと、木材をいつまでも生産できます。また、森林を利用して、きのこや山菜、薬草をさいばいできます。こういった森林の働きをうまく利用している産業が林業です。



鳥取県で生産された木材量

[2016年 / 鳥取県農林水産部]

くらしの中の木

山から切り出された木材は、私たちのくらしの中でたくさん使われています。スギやヒノキやマツは木の家を建てるのに使われます。また、木材は、くだいたり、つぶしたりして、わたしたちが毎日使う本やノート、ティッシュペーパーなどくらしに欠かせない紙になります。ほかにも、木材は、まきや、バーベキューに使う炭にもなります。



柱、かべ、ゆか、家具などにたくさんの木材が使われている

森林からのおくり物

林業では、きのこさいばいをはじめ炭、薬草、山菜が大切なお金を得る方法え ほうほうとなっています。また、近年は木を燃やして発電はつでんできるようになり、境港さかいみなとに平成27年にできた発電所では約1万戸の家庭で使用する電気をつくれるようになりました。



日新発電所



くらしを守る森林

森林は、わたしたちの生活に必要な水をはぐくみ、こう水をふせいでくれます。また、風や砂をふせいでくれたり、地球温だん化の原いんにさんかたんその一つである二酸化炭素を光合成によってとりこみ酸素をつくってくれたりします。

2 林業のさかんなところ

①鳥取県の林業の特色

八頭郡やずでは、江戸時代からスギが植えられており、皇居こうきよにも使われるような良質のスギ材が生産されています。大山だいせんを中心とした地ち域いきではマツ材を生産してきましたが、松くい虫のひ害により、生産量へが減ってきています。日野郡ひのでも多くの人工林が育っています。



木の伐採ばっさい ちづ (智頭町)



アカマツの林 (大山町)



かんばつされた人工林にちなん (日南町)

②クローズアップ！『木を生産する』

(1) 木を育てる

苗木を育てる，うえる，下草がり，かんばつ，えだ打ちなどの手入れをすることによって健全な森林になり，木が利用できるようになります。



苗木を植える



下草がり



かんばつ・枝打ち



よく手入れされたスギ林



今，県内でスギやヒノキなどの人工林がどんどん育っています。しかし，木材のねだんが下がったため，手入れがされない森林も増えています。その中で林業をがんばっている人もいます。また，森林の手入れをてつだう人も出てきました。



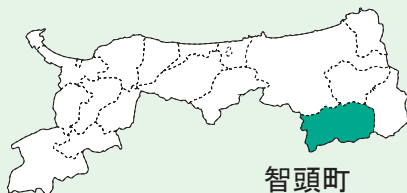
ボランティアによる植林

林業家の声



林業でがんばる

あかほりむねのり 赤堀宗範さん (智頭町)



智頭町

山仕事は楽しいです。

次世代にほこりを持って渡せる山や木を作るためにがんばっています。



(2) 道をつくり、木を切り、運び出す

切った木を運び出すためにかんたんでくずれにくい道づくりが進められています。

道づくりによって、木を切りたおしたり運んだりする機械が山に入るようになりました。その結果、つらい山の作業が安全で楽にできるようになり、多くの若者が森の中で働くようになりました。



林の中につくられる道



機械で木を集めて運び出す



車で運び出される木材

機械で木を運び出す若者

おおした ゆうげんがいしゃ
大下林業有限会社の
たけお とっとり
大下武夫さん（鳥取市）



(株)グリーン・シャインの
すやまさとみ にちなん
須山里美さん（日南町）



(3) 木を売り買いし、加工する^か

鳥取県には4カ所の木材市場があり、山から運ばれた木が売られています。

市場で買われた木材は、製材所で板や柱に加工されます。また、境港や日南町の工場では丸太をうすくむいて、せっちゃくざいではり合わせて大きな合板や柱に加工されます。さらに、南部町の工場では、小さな板をはり合わせてから大きな板などに加工されています



木材市場（智頭町）^{ちづ}



製材所（若桜町）^{わかさ}

住宅の柱や土台などに使われます



合板工場（境港市）

住宅の床や屋根の下地などに使われます



南部町の工場で加工された板材
住宅の床や壁などに使われます。

(4) 木を使う

県内には、約340軒の工務店があり、多くの大工さんが活やくしています。

鳥取の気候や風土で育った木を使って、家を建てる運動も広がっています。



木で家を建てている様子（八頭町）^{やず}

③クローズアップ!『森林を生かしたシイタケづくり』

こうようじゅ
広葉樹のクヌギやコナラの木を切り，その丸太にシイタケきんを植え，さいばいします。丸太から生えたシイタケは農薬のうやくを使うことがなく，体にも良い健康食品けんこうです。

鳥取県には有名なシイタケの「鳥取茸王たけおう」と「カンナマ」があります。「鳥取茸王」は，みがあつく大型のシイタケです。「カンナマ」は，湯につけると早くもどり，シイタケ特有のにおいも少なく，学校給食にも使われています。



コナラの丸太にはえたシイタケ



シイタケ「鳥取茸王」

シイタケ生産者の声

- 広葉樹林を守り育てるために，自然の中で育つシイタケづくりを始めました。たくさんとれるとうれしいです。
- シイタケをふくめて，バランスの良い食事を取り，健康な体をつくってほしいです。
- シイタケづくりをやってきましたが，とにかく大量に生産しないともうけることができません。



おおいえしげひろ
大家繁博さん
もちがせ
(鳥取市用瀬町)



まつばらのりお
松原則夫さん
とうはくぐんみささ
(東伯郡三朝町)



うえたに はじめ
上谷 春さん
ひの
(日野郡日野町)